

2017年度医療生協さいたま基本方針

メインテーマ 合併25周年！健康で笑顔あるまちと健康な経営づくりを進めよう！

西秩父

発行

医療生協さいたま西秩父支部

発行責任者 黒澤 慎一

連絡先 小鹿野町両神薄401-2
TEL 79-1207

龍勢茶屋で 七月の健康デー

七月の健康デーを、二十日の午前十時から、龍勢茶屋をお借りしておこないました。
店のご厚意で、テントの中を使わせていただき、買い物客など十二名の健康チェックができました。ほとんどの方が地元以外だったのが特徴でした。



常設のテントをお借りしての、健康チェック

八月の健康デーは 十七日です

八月の健康デーを、十七日(木)に、やおよし小鹿野店をお借りして、午前十時からおこないます。血圧測定や体脂肪・内臓脂肪などの測定を無料でおこないます。大勢の皆さんのおいでをお待ちしています。

秩父地区ウォーキングに 参加しました

七月十五日、秩父地区主催の「ミューズパークでウォーキング」に、支部からも参加しました。



暑い中でしたが、木陰のさわやかな風もあり、よい汗をかき、楽しく歩きました。

健康まつりで

料理・お話し・健康チェック

七月一日に、両神ふるさと総合会館を会場に健康まつりをおこないました。

午前中は、韓国料理のチヂミやキムチづくりなどを体験、豆もやしご飯と一緒に昼食会。

午後は、血圧測定や体脂肪・内臓脂肪の測定、それに、骨の硬さを見る健康チェックをおこないました。

引き続き、高田哲郎さんのお話「東北被災地支援活動一〇〇回の経験から」は、活動から感じられた、様々な問題をDVDを写しながらか話され、参加者の感銘を受けました。現在、一〇五回になりました。

8月の予定

- 1日(火) 運営委員会
- 8日(火) 病院環境ボランティア
- 15日(火) 病院利用委員会
- 16日(水) ちちぶいきあいフォーラム
- 17日(木) 健康デー
- 18日(金) 支部長会議
- 22日(火) 病院環境ボランティア
- 26日(土) は一とふるコンサート



今も続く訪問支援活動「弱いものをみるとだまっていられないんです」と話す高田さん



韓国料理を体験する。講師は本庄市の蘇漢さんで、支部として初めての企画でした。



7月13日に、小鹿野と吉田で国民平和が行われました。

秩父生協病院で
は一とふるコンサート

◇期 日…八月二十六日(土)
◇会 場…秩父生協病院
◇出 演…新井 千春さん
 矢尾 雅美さん

小鹿野と吉田で
国民平和大行進

あちやむしだんべえ

かつちき

高田 哲郎

154

あちこちで草刈り機の音が聞こえる。毎年のことだが、梅雨季から秋にかけて「草べえ元気で困ったもんだ」と雑草の生命力の強さをボヤキながら、草との格闘を繰り展げなければならぬ農村の宿命である。

草刈り機という便利なものが出てからは死語となりつつあるが、庭や畑の草との格闘を「草追い」といった。追っても追っても追いつけないという悲鳴に近いニュアンスのある言葉である。昔の篤農家は「草っ畑」は恥だと言った。草の多い畑はモノグサ畑と笑われた時代が長かったのだ。畑を雑草から守るために作付けすることを「草っ塞げ」といった。片手間農業を言うこともある。

今は刈りっ放しが多い雑草も、ひと昔前までは貴重な有機肥料として畑の中に敷き込んだ。

秩父市の『松本家御用日記』の一七四四年の条に「ぼや木の類刈取り田肥に付け込み、芋へも刈敷入れ、田を掻き刈敷き踏み込み」とあるように、これを「掻っ敷き」といった。

塩分測定器を購入し 熊本地震被災地支援

「すこしお生活」をすすめるために、『減塩生活』を紹介します。汁物の中に、『減塩生活』の先を入れボタンを押すだけ、簡単に塩分濃度が測れます。税込二七〇〇円です。一本につき五〇円が、熊本地震被災地支援になります。



お酒を飲んで

復興支援を!

復興の酒「希望の光」を斡旋します。

南三陸町の海辺に被災後真っ先に小さな仮設の店舗で営業を始めた「大森屋」は復興をめざす地域に希望をもたらしました。

ここで発売した復興の酒「希望の光」(金紋両国・特別本醸造720ml・1,000円)は、さらりとした口当たりで好評です。希望者は、犬木(七五―二四二二)まで申し込んでください。

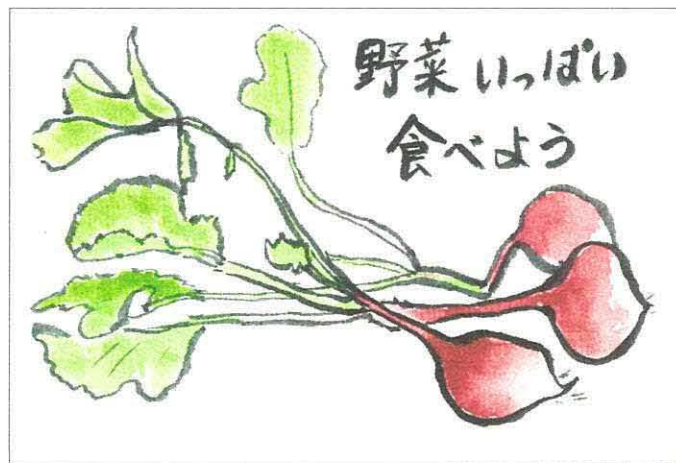
ご協力下さい

酒・焼酎などの空き紙パックを集めています。(復興支援の再生ハガキになります。)

連絡先 犬木まで(七五―二四二二)

絵手紙

落合 英子



川柳

秩父野太郎

アベの言う丁寧日本の辞書になし
取り巻きは記録焼却記憶忘却
都合よく忘れて官僚出世する
納税の期日忘却したくなり
庶民の願望
京産大語呂がイヤかと付度し
アベの天敵
記録も記憶もないまま進む現代史
ピンチには腹心の友くもがくれ
後世の史者泣かせ
一強が敗れ惜しまれ喜ばれ
同日、都議選将棋戦
馬券屋は公明党に入りたがり
勝ち馬の選び方
後ろ指気にして自分史書いて消し

詩

深山の源流

水村 健治

人のあるべき姿を
教えてくれる
深山のたたづまい
岩陰走る源流の清しさ

刻々の
木洩れ陽に
一瞬の苔類の輝き

老いた木
若い木
幼木の

ふくよかな山土の
それぞれの
息を含んだ
気の流れ

細胞が
皮膚が
共鳴している

心にまとわりつく世俗の
事々をしぼし忘れ
素のまま
いいよと